

介護は進む 日本を変える！

～2025社会保障大改革は現場の力で～

平成27年度 北海道ブロックカンントリーミーティング in 札幌

10月22日(木)～23日(金) 13:00開会 ※受付は11:45～

財政健全化のもと、「骨太の方針2015」では、毎年1兆円ずつ伸びる社会保障費を半減させ、3年間で1.5兆円に抑える目安を掲げています。すなわち年あたり5千億円の削減と同義となる大改革を前に、私たち介護現場の当事者世代が何をなすべきでしょうか。介護保険制度導入から15年。政府は当座しのぎの介護報酬削減を繰り返してきたものの、もはや社会保障給付費抑制には効果が見込めない局面にまで及んでいます。

全国老施協が支える利用者100万人の暮らしをまもるために、私たち自身が現実に向き合い、国民の声を代弁することによって、あるべき社会保障制度改革を導かなければなりません。14年に渡って現場の声を集積し、課題に向き合ってきた「21世紀委員会・カンントリーミーティング」は、我が国介護・福祉のこれからを担うリーダーが集う発信の舞台です。当事者としての責任をもって時代に応え、介護現場から日本をつくる原動力を生み出すべく、皆さまのご参集をお願いいたします。

1日目

- 13:00 開会
- 13:10 趣旨説明
- 13:20 基調報告
- 課題提起
- 14:15 移動・休憩
- 14:30 分科会
- 17:50 休憩
- 18:10 情報交換会
(19:40終了予定)

第1分科会 “2018報酬・制度大改革”に向けて ～カイゼン（効果・効率・向上・成長）

社会保障制度を将来的に持続可能な制度としていくには、今の報酬改定の削減という当座しのぎを繰り返すのではなく、現場から効率的・効果的な介護保険制度のあり方を考えていかなければならない。
今年度の介護報酬改定の影響を分析し、利用者・家族・従事者等の介護・福祉を守り、中長期的に地域の安心を構築するビジョンを打ち出す。

第2分科会 介護が描く“新時代の地域・暮らし・福祉”づくり ～現場発「まち・ひと・しごと創生」

一極集中傾向が進む都市部、限界集落となる中山間地域など、地域の抱える課題は様々であるが、地域包括ケアの実現には、医療・介護関係者の協力は勿論のこと、地域の人的資源をフル活用し、私たちが地域力の基盤を整え、底上げに向けて、地域福祉の中核的位置づけを担っていかなければならない。
私たちが描く「まち・ひと・しごと創生」を考える。

第3分科会 もっと良くしよう「日本式K A I G O」 ～“介護の誇り”を日本へ・世界へ伝えたい

24時間365日、チームで支える「日本の介護」は、認知症ケアや看取りを含め、一層高度かつ多様な機能と効果を備えてきた。
日常行っている業務を改めて振り返り、施設・事業所での取組や「日本の誇れる介護」をより進化させ、海外も含め多方面にPRしていく方法を考える。

参加申し込み締め切りは、**10月2日(金) 必着**です。

2日目 (10:20～11:50)

特別講演「高齢者ケアにおけるストレスの徹底理解と
早期発見に向けて」

講師 **田辺 毅彦** 先生
(北星学園大学文学部 心理・応用コミュニケーション学科 教授)

- 総合ディスカッション 9:00
- 休憩 10:10
- 特別講演 10:20
- 閉会 11:50

2日目

会場：TKPガーデンシティ札幌駅前 5階カンファレンスルーム (会場詳細裏面)

主催 全国老人福祉施設協議会・北海道老人福祉施設協議会 ※公共交通機関をご利用ください
北海道「イ・ビ」センター協議会

申込み・問合せ 北海道老人福祉施設協議会事務局(宮川) ☎011-241-3766 / FAX011-280-3162

会場

- 札幌市中央区北2条西2丁目19番
TEL : 011-252-3165
- 会場 : **TKPガーデンシティ札幌駅前**
5階カンファレンスルーム
- ※札幌駅周辺には、“TKP”の名のつくビルが複数ございます。ご注意ください。
- 札幌駅前通地下歩行空間1番出口 徒歩2分



TKPガーデンシティ札幌駅前
北海道札幌市中央区北2条西2-19
TKP札幌ビル内
(会議室受付で宿泊受付)

参加費

※ 参加費には情報交換会費も含まれています。原則全員参加
領収書は、参加費（会員：5,000円、非会員：8,000円）と情報交換会費（5,000円）に分けてお渡します。

北海道老施協・北海道デイ協 会員10,000円 / 非会員13,000円

プログラム

1日目 (10/22)

- 13:00 開会挨拶
- 13:10 趣旨説明 全国老人福祉施設協議会21世紀員委員会
- 13:20 基調報告 全国老人福祉施設協議会
課題提起 全国老人福祉施設協議会21世紀委員会
- 14:15 移動・休憩
- 14:30 分科会 **3分科会に分散します。3つの内、参加する分科会を希望順にお申し込みください。**
- 17:50 休憩
- 18:10 情報交換会 他施設・施設種別を超えた情報交換・ネットワークづくりを図る場となっています。

☆全国老施協【重点課題】

1. 介護保険制度の見直し及び介護報酬改定への対応
2. 地域包括ケアシステムの推進役としての機能発揮
3. 介護人材の確保等に係る対応
4. 社会福祉法人制度改革への対応

2日目 (10/23)

- 9:00 総合ディスカッション 前日の各分科会での議論内容を、北海道老施協21世紀委員より報告します。
- 10:10 休憩
- 10:20 特別講演 **田辺 毅彦** 先生(北星学園大学文学部 心理・応用コミュニケーション学科 教授)
「高齢者ケアにおけるストレスの徹理解と早期発見に向けて」
- 11:50 閉会

参加申込書にて参加分科会の希望順を、第3希望まで必ず明記ください。
参加申込書記載の施設種別・職種等を参考に、グループ分けをしますので、職種・経験年数を必ずご記入ください。
参加分科会は、当日配布する名簿にてご確認ください。
基調報告・課題提起及び参加者からの事前アンケートをもとにディスカッションを展開します。

分科会 について

検討テーマ (予定)

第1分科会 “2018報酬・制度大改革”に向けて ～カイゼン（効果・効率・向上・成長）

- ・医療と介護、施設サービスと在宅サービスにおける負担と給付を考える
- ・経営実態に即した財務情報の開示と国民に理解と納得が得られるエビデンスを提案する
- ・魅力ある介護の職場づくりと人材確保のために私たちの出来ること（各分科会共通話題）

参加できるのは1つの分科会です。

第2分科会 介護が描く“新時代の地域・暮らし・福祉”づくり

～現場発「まち・ひと・しごと創生」

- ・官民協働・地域連携を深く、強くしていくための情報共有方法を考える
- ・他分野からの参入を促す環境整備をし、介護の魅力を拡大・拡散していく施策を提案する
- ・魅力ある介護の職場づくりと人材確保のために私たちの出来ること（各分科会の共通話題）

第3分科会 もっと良くしよう「日本式K A I G O」

～“介護の誇り”を日本へ・世界へ伝えたい

- ・認知症ケアに関する正しい知識を普及していく方法を提案する
- ・中重度介護者に向けたケア力を発揮していくには
- ・魅力ある介護の職場づくりと人材確保のために私たちの出来ること（各分科会の共通話題）